

全国中学校体育大会 全国中学校水泳競技大会
最優秀選手選考基準

令和5年8月1日制定
(公財) 日本中学校体育連盟 水泳競技部

【趣旨】

この基準は、(公財) 日本中学校体育連盟が、全国中学校水泳競技大会において、中学生水泳選手の競技力向上意欲の高揚を図り、最も好成績を収めた選手を、最優秀選手として選考するために定めるものである。

【選考対象種目】

個人種目を対象とする。(リレー種目を除く)

【表彰人数】

競泳の部 男女1名

飛込の部 男女1名

【選考基準】

< 競泳競技 >

当該年度8月1日時点での長水路日本記録に対して、各競技種目優勝者の記録到達度の割合が最も高い選手とする。同タイム等により割合が同じ場合は、次の順に従って決定する。

- (1) 同種目の予選・決勝のうち2番目の記録が日本記録到達度の高い者。
- (2) 2種目のタイムが日本記録到達度の高い者。
- (3) リレー種目に参加している者。
- (4) リレー種目において上位成績を収めている者。

< 飛込競技 >

各競技種目優勝者の標準点達成率(得点合計÷標準点×100)を算出し、その数値の最も高い者を最優秀選手とする。(小数点第3位を四捨五入し、小数第2位まで算出する) 標準点達成率が同じ場合は次の順に従って決定する。

- (1) 得点の平均値(得点合計÷演技数)が高い者。
- (2) 1演技種目について最も高い得点を得た者。

【公表及び表彰の方法】

閉会式で公表し、表彰する。賞状並びに記念の盾を授与する。

【附則】

この規定は、令和5年度全国中学校体育大会、全国中学校水泳競技大会から施行する。